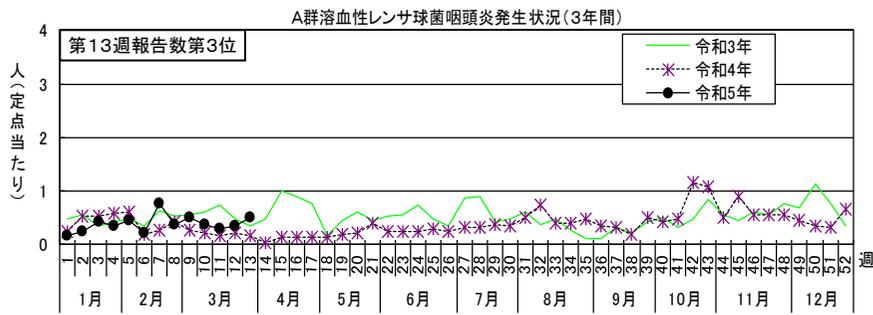
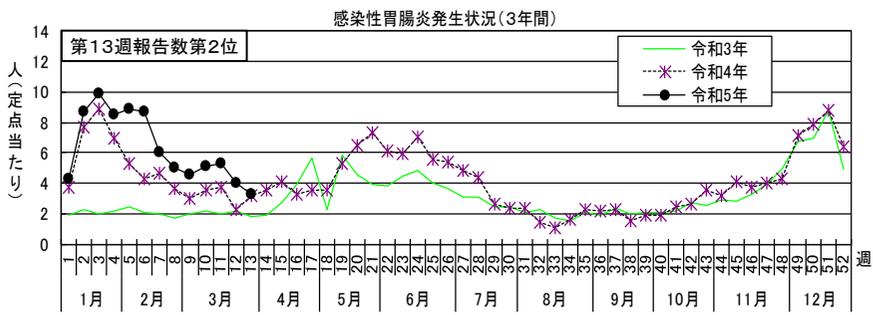
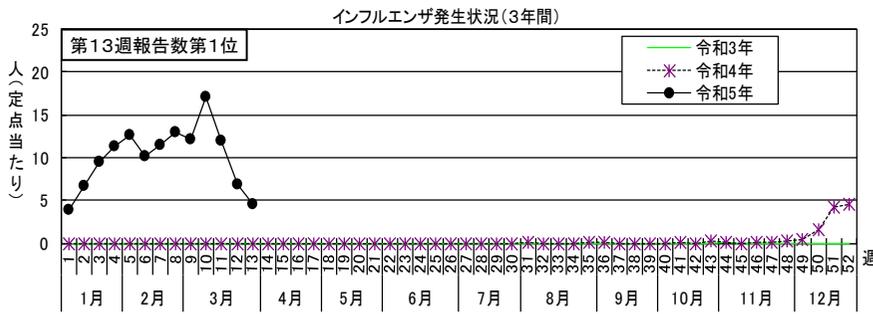


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年3月27日（月）～令和5年4月2日（日）〔令和5年第13週〕の感染症発生状況

第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.51人と前週(6.90人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.27人と前週(4.05人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.51人と前週(0.35人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



9価のHPVワクチンが定期接種に導入されました！

我が国では、令和5年4月から、9価のヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンが定期接種に導入されました。

HPVは子宮頸がんなどの原因ウイルスで、女性の多くが一生涯に一度は感染するといわれています。HPVには多くの型がありますが、特に16型及び18型は、子宮頸がんの主要な原因となります。HPVワクチンは、含まれるHPVの型の数により、現在は2価、4価及び9価の3種類がありますが、いずれも16型及び18型を含みます。さらに9価のワクチンは、他に5つの型による子宮頸がんも予防することができます。

ワクチンの種類や年齢により、接種のタイミングや回数が異なるため、事前にホームページなどで確認しましょう。

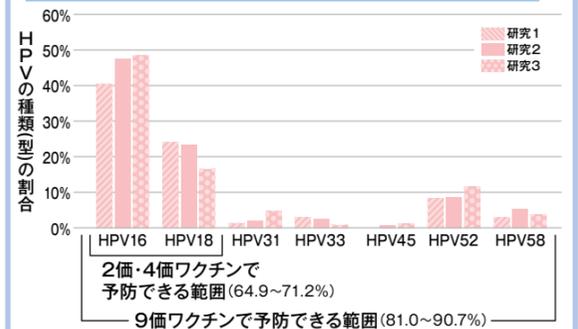
川崎市HPVワクチン接種事業について

対象者：接種日時点で川崎市に住民登録がある、
小学校6年生相当～高校1年生相当の女子*
*対象年齢を過ぎた方であっても、平成9年4月2日以降に生まれた女性は、令和7年3月31日まで対象となります。

実施場所：市内の予防接種個別協力医療機関
接種ワクチン：HPVワクチン（2価、4価及び9価）
接種費用：無料

*詳細は川崎市ホームページ「ヒトパピローマウイルス感染症（HPVワクチン）の予防接種について」をご覧ください。

日本人女性の子宮頸がんにおけるHPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲



研究1：Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316.
研究2：Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917.
研究3：Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.
「9価ワクチン接種のお知らせリーフレット」(厚生労働省)より作成